



2022年4月19日



「新しい病院のカタチ」第二弾！

地域版のSDGs「みんなとプロジェクト」始動します

社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会 東京都済生会中央病院（所在地：東京都港区三田1丁目4番17号、院長：海老原 全）では、去る3月16日の「ユニクロ済生会中央病院店」開店に続き、「新しい病院のカタチ」第二弾として4月19日「みんなとプロジェクト」を立ち上げます。このプロジェクトは文化放送らと共同で推進する地域版のSDGsです。港区内の自然、人、社会を街の恵み、チカラと考え、それらをつなぎ、循環させることで地域版のSDGsを実現します。街の恵みである「しばみつ®」※を、港区内の福祉作業所「みなとワークアクティ」のチカラで、マドレーヌというカタチにします。マドレーヌはみなとワークアクティのカフェで直売するほか、東京都済生会中央病院内で出張販売および各種イベントなどで販売する予定です。街から採れたハチミツを活かしたプロダクトを通じて、地域の「巡り」を再生し、「つながり」と「笑顔」を作っていきます。

※「しばみつ®」とは、港区の芝地区総合支所地域事業「芝 BeeBee's プロジェクト」で収穫した芝地区産のはちみつです。三田いきいきプラザの屋上に巣箱を設置し、ミツバチの巣箱の手入れ（内検作業）や採蜜作業を地域の人たちと一緒に、週に1回行っています。純粋無添加非加熱であり、癖がなくすっきりとした甘味が特徴です。



【新しい病院のカタチ】

済生会は明治44年に明治天皇の「済生勅語」を受けて創立されて以来、医療を受けることが困難な困窮者に対して医薬を施すという「施薬救療の精神」のもと、医療・福祉が届きにくい人々への支援に、1世紀以上にわたり取り組んできました。その歴史を踏まえつつ、近年の複雑化、多様化する地域課題に対応するために、済生会は医療・福祉に留まらず、誰も排除されない社会を目指し、人と人のつながりを再構築する[ソーシャルインクルージョン](#)のまちづくり活動を展開しています。東京都済生会中央病院もソーシャルインクルージョンの実現に向け、新しい病院のカタチを常に模索しています。働きがいのある職場づくり、広く地域のみなさんに足を運んでもらえる空間づくり、地域

とのつながりづくりを通して、健全なまちづくりと健康づくりに貢献することを目的とします。

※ソーシャルインクルージョン：日本語に訳すと「社会的包摂」、社会的に弱い立場にある人々を含むすべての人が地域社会に参加し、共に生きていくという理念で、済生会が目指す社会のあり方です。この理念はSDGsの「誰一人取り残さない」とする理念と軌を一にするものです。

【プロジェクト概要】

プロジェクト名： 「みんなとプロジェクト」

プロジェクト開始日： 4月19日（火）

Webサイト： <https://www.minnato.jp>

運営主体： みんなとプロジェクト事務局（東京都済生会中央病院・株式会社文化放送）

協力： 港区芝地区総合支所、オルト都市環境研究所、ihrmk、芝 BeeBee's プロジェクト、港区立障害者保健福祉センターみなとワークアクティ

【施設概要】

院長 海老原 全

病院種別 一般病院

許可病床数 535床

常勤職員数 1294名（令和4年4月現在）

診療科目 内科（総合診療・感染症、消化器、呼吸器、脳神経、糖尿病・内分泌、血液、循環器、リウマチ・膠原病、腎臓、腫瘍） 外科（一般・消化器、乳腺、心臓血管、血管外科、呼吸器）、集中治療科、小児科 精神科（心療科） 皮膚科 脳神経外科 脳血管内治療科 整形外科 産婦人科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科 形成外科 歯科・口腔外科 リハビリテーション科 放射線科 放射線治療科 救急診療科 麻酔科 臨床検査医学科 病理診断科 緩和ケア科

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会 東京都済生会中央病院

広報室 佐藤弘恵

TEL：03-3451-8086

e-mail：pr-info@saichu.jp